

令和5年度 地震研究所職員研修会 プログラム



日 程 令和6年2月1日(木) ~ 2日(金)

地震研究所研修運営委員会

(WEB版 20240122)

令和5年度 地震研究所職員研修会 概略

日 程： 令和6年2月1日（木）～2日（金）

会 場： Zoomによるオンライン開催、および、地震研究所1号館セミナー室

日程概略：

1日（木）	2日（金）
10:20～11:20 接続テスト （Zoomを接続できる状態にしておきます。接続や使い方にご不安のある方はこの時間帯にお試し下さい）	08:40～ 受付 09:10～10:40 所内／オンライン研修 （危険生物の対策 クマ編） 11:00～12:00 特別講演 佐竹 健治 氏 （東京大学地震研究所 教授）
12:20～ 受付 12:50～13:10 開会式 13:10～14:40 口頭発表 14:40～14:50 研修報告 15:20～16:05 地震火山災害予防賞授賞式 受賞記念講演 16:35～17:35 意見・情報交換会	13:00～15:45 所内／オンライン研修 （危険生物の対策 クマ編の続き） （危険生物の対策 触れて危険な植物編） 15:55～16:15 修了式
オンライン懇親会（希望者のみ） 19:00 開始 20:00 終了予定	

研修運営委員会：蔵下 英司（運営委員長）、行竹 洋平（運営副委員長）、
浦野 幸子（実行委員長）、安藤 美和子（実行副委員長）、
西本 太郎、秋山 峻寛、橋本 匡、八木 健夫

電子メール kenshu-r05@eri.u-tokyo.ac.jp

ホームページ https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kenshu_iinkai/

技術発表予稿集 https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kenshu_iinkai/record/r05/pdf/R05_Abst.pdf

お知らせ

1. オンラインでのご参加にあたって

- 参加および聴講される方は、配信される映像、音声の録画、録音、スクリーンショットの取得はご遠慮ください。
- 実行委員会はスクリーンショットや会場を撮影し、後日研修運営委員会ホームページや技術研究報告に掲載することがあります。(申し込み時に掲載不許可の申請のあった方を除きます。)
- 今年度は研修会の録画、および、アーカイブ公開は行いません。
- Zoom の設定をご確認ください。
 - 表示名は **所属略称・姓名** としてください。例) 東大・震研太郎
 - 進行者および発表者以外は、**ビデオをオフ**に、**音声をミュート**に設定してください。
 - 発表・質問の際は、**ミュートを解除**してください。
 - 質問のある方は、**挙手/手をおろす**機能をご利用ください。
 - 何かお困りの際は、**チャット**で話しかけてください。
 - 東大構成員の方は東大アカウントでサインインした状態でご参加ください。

2. セミナー室でのご参加にあたって

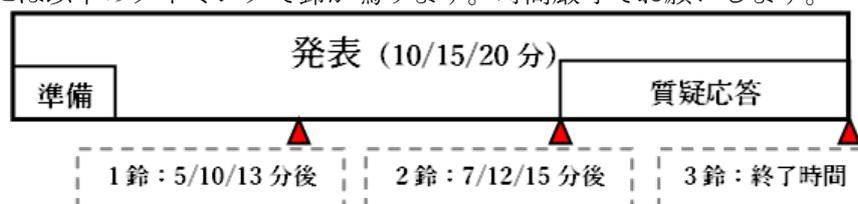
- セミナー室に PC を持ち込んで zoom に接続される場合、**PC のマイクはミュート**にし発言の際はセミナー室内のマイクをご使用ください。
- 質疑応答の際は、座長に指名された後セミナー室前方中央のマイクの前までおいでいただきご発言ください。
- セミナー室内は飲食禁止です。
- 受付で記帳の上、受付でお渡しする名札をご着用願います。

3. 所内／オンライン研修（危険生物の対策）

- 所内／オンライン研修は、午前と午後に分かれて行われます。
- (オンラインの方) 質疑応答の時以外は、**ビデオをオフ**に、**音声をミュート**に設定してください。何かお困りの際は、研修委員へ**チャット**で話しかけてください。

4. 口頭発表

- (オンラインの方) 発表前にマイクがミュートになっていないかご確認の上、カメラをオンにしてご発表をお願いします。
- (セミナー室の方) 発表前までに zoom にご接続願います。PC のマイクはミュートにして、演題備え付けのマイクをご使用ください。カメラをオンにしてご発表をお願いします。
- 発表時間には発表準備および質疑応答も含まれています。
質疑応答時間は発表時間 10 分、15 分の方は 3 分程度、発表時間が 20 分の方は 5 分程度を想定しています。
発表中には以下のタイミングで鈴が鳴ります。時間厳守でお願いします。



5. 意見・情報交換会について

- グループ分けは別途お送りする名簿をご参照ください。
- 簡単な自己紹介に加え、それぞれのテーマについておひとり 2～3 分程度の話題の準備をお願いいたします。ご自身がそのテーマについて提供できる情報がないという場合も、そのテーマについて知りたいこと、現状抱えている問題などの具体例をご用意いただければと思います
- セミナー室でご参加の方も、意見・情報交換会は zoom で参加していただきます。意見・情報交換会前の休憩時間に移動し、ご自身の PC よりご参加ください。居室に別のグループの参加者がいる場合、音声が入る可能性がありますので、下記の部屋をご使用ください。
A グループ：事務会議室 A、B グループ：事務会議室 B、C グループ：セミナー室
(ご自身の居室に同室者がいない等環境に問題がない場合は上記の部屋にいらっしゃる必要はございません。)

6. 修了証書について

- 全日程参加された方に発行します。

7. アンケートへのご協力のお願い

研修会に参加および聴講された方にアンケート URL をお知らせします。本会への感想、次回へのご要望などをお聞かせください。いただいたご意見は、今後の参考にいたします。ご協力よろしくをお願いいたします。(収集期間：2月1日(木)～2月7日(水))

1日目：2月1日（木）

12:20～ 受付

12:50～13:10 開会式 挨拶：古村 孝志（東京大学地震研究所 所長）
蔵下 英司（研修運営委員会 委員長）

13:10～13:50 口頭発表

13:10～13:30	(1)	岩石破壊実験装置の新しい記録系の開発 ○竹内昭洋 ¹ 、浦野幸子 ¹ 、内田正之 ¹ 、中谷正生 ² 東京大学地震研究所 1:技術部技術開発室、2:地球計測系部門
13:30～13:50	(2)	三陸沖光ケーブル式海底地震・津波観測システム 釜石陸上局舎の維持管理 ○田中伸一、橋本匡 東京大学地震研究所 総合観測室

休憩

14:05～14:40 口頭発表

14:05～14:20	(3)	桜島火山噴火後の降灰量調査 ○園田忠臣、竹中悠亮 京都大学防災研究所 技術室
14:20～14:30	(4)	北海道大学による無人島（渡島大島）での地震観測 ○一柳昌義 ¹ 、高田真秀 ¹ 、山口照寛 ¹ 、岡田和見 ¹ 、勝俣啓 ¹ 、高橋浩晃 ¹ 佐々木康隆 ² 1:北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 2:北海道大学大学院理学研究院等技術部 機器・試料制作班機械工作室
14:30～14:40	(5)	技術職員による広報アウトリーチ室への協力（2023年） 福井 萌 東京大学地震研究所 広報アウトリーチ室

14:40～14:50 研修報告

セラミックス大学 2023	竹内 昭洋 東京大学地震研究所 技術部技術開発室
---------------	-----------------------------

14:50～14:55 記念撮影

休憩

15:20～15:30 令和5年度地震火山災害予防賞 授賞式

受賞者：渡邊 篤志 氏（東京大学地震研究所 技術専門職員）
受賞対象：火山研究に資する観測装置・技術開発や観測支援業務並びに
広報活動等を通じた地震火山災害軽減への貢献

15:30～16:05 令和5年度地震火山災害予防賞 受賞記念講演

渡邊 篤志 氏
火山観測 25年を振り返って

休憩

16:35～17:35 意見・情報交換会

19:00～20:00 オンライン懇親会（希望者のみ）

2日目：2月2日（金）

- 08:40～ 受付
- 09:10～10:40 所内／オンライン研修（危険生物の対策 クマ編）
講師：西海 太介 氏
（一般社団法人 セルズ環境教育デザイン研究所）
休憩
- 11:00～12:00 特別講演
講師：佐竹 健治 氏（東京大学地震研究所 教授）
演題：関東大震災 100 周年：過去のデータに基づく将来の予測
休憩
- 13:00～15:45 所内／オンライン研修（危険生物の対策 クマ編の続き）
（危険生物の対策 触れて危険な植物編）
講師：西海 太介 氏
休憩
- 15:55～16:15 修了式
講評：古村 孝志（東京大学地震研究所 所長）
挨拶：浦野 幸子（研修運営委員会 実行委員長）